

しかし昨年、やはり弾いてみたいという思いが強くなり、ついに教室に通うことを決心した。まだ基礎の基礎という状態だが、今年こそは人前でお披露目できたらいいなあ、と思っている。

(こだま 小野 京子)

私がチャレンジしたいことは、趣味を伸ばし広げる事です。学生時代に少しだけ絵をやっていたのですが、今では全く触れることすらできていません。絵を描いていた空間は、今思い返してもとても居心地がよく、あっといふ間に時が過ぎてしまう程、夢中になれるものでした。今でも書店に行けば、デザインや絵画といったコーナーに自然と足が向き、その度にもう一度やりたいなあと感じている自分があることに気が付きます。最近出会ったお気に入り作品に、ズビノッキオの冒

静岡第一テレビ「サンタドリームプロジェクト」より40型の大型液晶テレビが贈られ、「あすか2」のリビングルームに設置されました。ありがとうございました。



日常活動報告会(12月23日)

各担当職員より、入所者の日常の活動の様子をご家族に報告致しました。



険があります。ただデザインと色合いが気に入り購入しましたが、今ではこの作品に魅せられています。何かに没頭できる時間を持つてるといのは、とても良いことです。今年こそ自分磨きをしたいです。

(あすか2 島崎 由実子)

ここ数年、いくつか趣味を続けてきた。その中の一つにマラソンがある。

私にとって走ることは、自分と向き合える大切な時間である。ゆっくりと通り過ぎる風景に、季節の移り変わりを感じながら走っていると、心が軽くなり、焦らず、自分のペースで少しずつ前に進めばいいのだなと、気付くことができる。さらに、今年はステップアップして、距離や記録更新にも挑戦したいと思う。また、昨年は時間に追われ、やりたいことでも、後回しに

することもあったように思う。今年は、仕事も趣味も充実できるよう、常に目標を持ち、計画を立てて、時間を有効に使って過ごせるようにしたい。

(リハビリテーション部 永谷 奈々弥)

昨年の四月から社会人としての生活が始まり、一日一日があっといふ間に過ぎていきました。一年目の今、気を張っていて、緊張している毎日が続いています。今年は仕事にも慣れてきて、気が抜けてしまふということも考えられます。だから、四月からの気持ちをも忘れず、場をわかまえた行動を心掛けていきたいです。また、昨年は趣味である写真にあまり触れることが出来なかったので、趣味の時間もきちんと持てるように時間をうまく使った生活を送りたいです。

(はるか 井上 直美)

私の宝箱 シクラメン

堀野 桂

二〇〇六年の暮れ、母の買い物の運転手としてたまにたま入った園芸屋で、ガソリン代として一鉢のシクラメンを買ってもらいました。千円もしない安いものでしたが、きれいに花を咲かせて僕を目を楽しませてくれました。二階東側にあるトイレの窓際に置いてあったのですが、花が終わった後はどうすればよいかわからないまま、土が乾いたら水をやり、世話をしつつ育てていきました。すると、翌年の年末ぐらいにまた花が咲きました。同じようにして次の年も花が咲き、また今シーズンも花が咲きそうです。

ました。「僕はこれの世話はしないからね。」ときっぱり言つと、「自分でやりますよ。」と仕方なさそうな妻。きつと、いつかは気になって世話をしようという気がするけれど、なにしろ「嫉妬」が花言葉にもなっているシクラメン。ヘソを曲げて花を咲かせてくれないうとこまるから、自分のシクラメンを大いにかわいがり、時々新入りを見てあげようかなと思つています。

僕のシクラメンは、年を重ねるごとに、花の本数が減り、逆に小さく揃つていた葉は巨大化し、大きさがばらばらになつてきました。でも、そんな不格好なシクラメンがかわいくて仕方ありません。植物を育てる事は特に好きではなかったのですが、世話の方法もよく分かつていないままなのに、けなげに花を咲かせているこのシクラメンを見てみると、これから先もずっと花を咲かせ続けてみたいと思うようになってきました。お世辞にもきれいではなくなってきたシクラメンですが、トイレに入るたびに僕の心を癒してくれている気がします。

(あすか2 介護職員)

絵本の世界はお休みします。